

2023（令和5）年度 第49回函館地区春季一般バドミントン大会開催要項

- 1 主 催 函館地区バドミントン協会
- 2 期 日 令和5年6月4日(日)
- 3 会 場 北斗市総合体育館（北斗市押上1丁目3-1 TEL0138-73-6481）
- 4 競技種目 一般 部門 男女 単・複 各1部・2部・3部
年代別部門 セミベテラン 男女 単・複
ベテラン 男女 単・複 ※複は男女区分なし
- 5 大会日程 8：45 役員入場
9：00 選手入場・会場設営
公式練習・代表者打ち合わせ
※開会式・閉会式(表彰)は行わない。
- 6 参加資格 ①渡島・檜山・函館地区在住の一般社会人（大学生・高専生を含む）で、本年度、函館地区バドミントン協会への加盟登録をする者。（当日の加盟登録も可とする）
(1)加盟登録は指定された期日までに済ませること。（5月31日締切）
(2)本大会より2023年度(令和5年度)の加盟登録とする。
(3)北海道実業団バドミントン選手権大会」に参加する場合は、事前に登録手続きを完了すること。
②高専生は、4年生以上の者。
③エントリー法については、3ページ「付則」を参照のこと。
- 7 競技規則 本年度（公財）日本バドミントン協会の「競技規則」・「大会運営規程」・「公認審判規程」に準ずる。
- 8 使用器具 ①本年度（公財）日本バドミントン協会検定合格器具を使用する。
②使用球は、（公財）日本バドミントン協会検定球とする。（地区協会で用意する）
③服装については（公財）日本バドミントン協会検定合格品を着用のこと。
- 9 競技方法 ①ダブルスについて
(1)原則として、予選をリーグ戦方式で行う。（但し、参加数が多数の場合はトーナメント戦にする場合もある。）
(2)各予選リーグの上位のペア同士により1位～3位までの順位決定戦を行う。
(3)その他の順位決定戦は行わない。
②シングルスについて
(1)出場数が「4」以上の場合は、トーナメント戦で行う。
(2)出場数が「3」の場合は、リーグ戦とする。
(3)準決勝での敗者同士で3位決定のための試合を行う。
(4)その他の順位決定戦は行わない。
- 10 競技に関する諸注意
①該当種目内の出場申込数が「1」のみで試合の成立が見込めない場合、及び申込数が「2」で1試合しかのぞめない場合は、当該選手に確認のうえ、下記の選択を、組合せ会議時に競技委員会で検討する。
(1)出場を取り消しにする。
(2)希望により、他の年少者の種目に編入する。
(3)申込数が「2」の場合、そのまま1試合成立させる。
②組合せ会議後から大会当日までの期間にエントリー選手の変更が生じた場合は、監督会議の場で協議する。但し、原則として以下の方法による。
(1)リーグ戦の場合はオープン参加としリーグ戦内の全試合を行う。その勝敗数はリーグ戦内における成績による順位決定のための算定材料にはしない。
〔従って、同一リーグ内の残りのチームの対戦成績のみで順位を決定する〕
(2)トーナメント戦の場合は次回戦への勝ち上がりはできないものとする。
③競技進行は、原則として先にダブルス種目を行い、その後シングルス種目を行う。
④ダブルスとシングルスの2種目に出場する場合は、同一の部門内(同一の部)のダブルス種目及びシングルス種目とする。
⑤ダブルス種目からシングルス種目に移行する際に、諸準備のため若干の休憩時間を設ける場合がある。

11 参加料	一般 部門	1部	一人1種目	1,800円
		2・3部	一人1種目	1,500円
	年代別部門		一人1種目	1,500円

- ①組合せ会議後から大会当日までに棄権が生じた場合の参加料については返戻しない。
- ②大会当日の選手変更(オープン参加)の場合の参加料については返戻しない。
- ③参加料は大会当日に、会場にて受け付ける。

- 12 申込方法
- ①所定の用紙(様式1:参加申込一覧)に、競技種目別に男子・女子ともに記入すること。個票は不要である。
 - ②不備のものや電話による申し込みは受け付けない。(FAXは可)
 - ③「様式1:参加申込一覧」を郵送またはFAXすること。
 - ④申込締切日 令和5年5月24日(水) 必着
 - ⑤申込先 040-0012 函館市時任町11番3号
北海道函館中部高等学校内 尾村晃治(宛)
TEL0138-52-0303 FAX0138-52-0305

- 13 組合せ
- ①令和5年5月28日(日) 函館中部高等学校 10:00
(都合により、組合せ会場が変更になる場合がある。)
 - ②函館地区バドミントン協会がシード法で行う。

- 14 その他
- ①競技開始前に代表者会議を行う。各チームの代表者1名は参集すること。
 - ②「大会運営規程」の改定〔第4章 第24条〕(2019年4月19日より)ウェア(上衣)の背面に「所属チーム」名を表示すること。
(高さ6cm~10cm、横30cm以内)

- 15 審判
- ①リーグ戦及びトーナメント戦とも試合の空いている選手を中心に相互審判で主審・線審を行う。(指名:割り当て制)
 - ②敗者・勝者に関係なく審判を行う。(放送で指名する場合がある)
 - ③競技進行状況により、審判協力をお願いする。

付則

1 エントリー方法

- ①一人当たりの出場枠はダブルス1種目、及びシングルス:1種目の2種目までとする。(いずれかの一方の種目のみでも可)
- ②ダブルス種目において年齢区分の異なる選手同士がパートナーを組んで出場する場合には、「年少者」の種目に出場するものとする。
- ③「年長者」が「年少者」の種目に出場することは可とする。「年少者」が「年長者」の種目に出場することは不可とする。

2 年齢区分について

- ①1部 (ア)年齢による制限なし。(但し、満30歳未満の者で、高校・高専での大会への出場経験者で、個人戦の種目で地区ベスト8となった者は1部で出場すること)
(イ)前年度、1部の種目での優勝者。
- ②2部 (ア)大会前日において、満35歳未満の者。
(イ)大会前日において、満35歳以上の者で2部種目への出場を希望する者。
- ③3部 (ア)初心者及び大会未経験者を対象とする(高校・高専での大会出場経験者は除く)
(イ)年齢による制限なし。
- ④セミベテラン部
(ア)大会前日において、満35歳以上~満50歳未満の者。
(イ)大会前日において、満50歳以上の者でセミベテラン部の種目への出場を希望する者。
- ⑤ベテラン部
(ア)原則として大会前日において、満50歳以上の者とする。但し、やむを得ない事情により、ダブルスのペアの組み方について以下の(イ)(ウ)の場合でも出場を可とする。なお、組合せ会議の場にて競技委員会で審査する。
(イ)ダブルス種目において、満50歳以上の男女同士がペアを組んで出場することは可とする。【例】ペアの組合せ方:(男・男)(男・女)(女・女)
(ウ)ペアを組む選手同士の合計年齢が90才以上である場合は可とする。但し、いずれか一方の選手が満50才以上の者でかつもう一方の選手が40才以上の者とする。

※(参加申込一覧:様式-1に年齢が明記されているものとする)。

3 昇格について

- ア 2部の種目の優勝者について
- (1) 満35歳未満の者は、35歳まで「1部」に昇格する。
 - (2) 満35歳以上の者は、原則として直近の地区協会主催の大会より1年間は「1部」に昇格するものとする。(1年間とは、年度をまたぎ、次年度の同一大会を含むまでを指す)
 - (3) 但し、昇格対象者が地区協会主催による次大会より「年代部門」の出場を希望する場合はこの限りではない。
- イ 3部の種目の優勝者について
- (1) 満35歳未満の者は、35歳まで「2部」に昇格する。
 - (2) 満35歳以上の者は、原則として直近の地区協会主催の大会より1年間は「2部」に昇格するものとし、以後は「3部」の種目への出場はできないものとする。(1年間とは、年度をまたぎ、次年度の同一大会を含むまでを指す)
 - (3) 但し、昇格対象者が地区協会主催による次大会より「年代部門」の種目に出場を希望する場合はこの限りではない。
- ウ セミベテラン部及びベテラン部の優勝者については、特に昇格を設けない。
- エ 昇格は「ダブルス」・「シングルス」の種目の区分に関わらず、選手個人に対するものである。従って、ダブルスにおいて、そのパートナーを替えても昇格の条件は変わらない。

【参考】各種目の優勝者には優勝楯を授与

※昇格対象者を含む

1 前年度の各大会の優勝者(含む、昇格について) (春季一般大会・道南大会のみ掲載)

①	[2022年度(令和4年):第48回 函館地区春季一般バドミントン大会]	
---	--------------------------------------	--

※ 空欄は、該当者なし

	1 MD	三津橋 瑞生 志賀谷 想	(市田組) (市田組)	1 WD		
	1 MS	富士 和真	(市田組)	1 WS		
1部 昇格 対象	2 MD	米林 伸晃 辻村 駿	(コモンズプレーヤーズ) (コモンズプレーヤーズ)	2 WD		
	2 MS	銀杏 優志	(北大水産学部)	2 WS		
2部 昇格 対象	3 MD			3 WD		
	3 MS			3 WS		
S VMD				S VWD		
S VMS				S VWS		
V-D		吉田 裕保 吉田 こずえ	(シニアーズ) (個人)			
	VMS			VWS	吉田 こずえ	(個人)

※ 空欄は、該当者なし

	1 MD	北村 功太 川橋 尚斗	(市田組)	1 WD	松本 香織 播磨 紗貴	(函館BLC'06) (函大有斗)
1部 昇格	2 MD	佐野 晃平 山崎 裕司	(MCC) (MCC)	2 WD		
2部 昇格	3 MD			3 WD		
	S VMD			S VWD		
	V-D	水上 京子 石田 ゆかり	(函館BLC'06) (函館BLC'06)			

2023 (令和5)年度 春季一般バドミントン大会について (感染予防他)

- 1 諸準備
 - ①感染予防用具・消毒液・ペーパータオル・検温器など(米林)
 - ②競技進行用具(得点板設置する)
 - ③携帯用アンプとマイク(1本)を事務室より借用(橋本)
- 2 大会当日
 - ①大会役員が先行・入館して検温場を設営する。(8:45頃)
 - ②選手は検温場の準備ができてから検温をうけて入館する。(9:00頃)
検温と手指消毒の協力をお願いします。マスクの着用については個人の判断とする。
- 3 大会運営について(競技方法・審判)など
 - ①競技開始前に全体的な公式練習時間を設ける。(10~15分程度)
 - ②コートサイドは、選手が使用するカゴを設置せず各自持参する。飲み物も各自バッグに収容する。
 - ③競技進行は、「ダブルス種目」を先に行い、その後「シングルス種目」を行う。
 - ④大会会場の利用時間が18:00までであるので、17:30を目途に大会委員で協議し、やむを得ない場合には途中で試合を打ち切ることもある。
- 4 大会場の使用について
 - ①選手の荷物置き場及び待機所は、観戦席とする。
 - ②換気のため随時アリーナ内への出入口及びアリーナ内の非常口を開放する。場合によっては使用するコートを制限する。
 - ③アリーナ内での食事は原則禁止である。昼食はロビーでとること。
 - ④トイレに消毒液を設置する。(地区協会での用意)